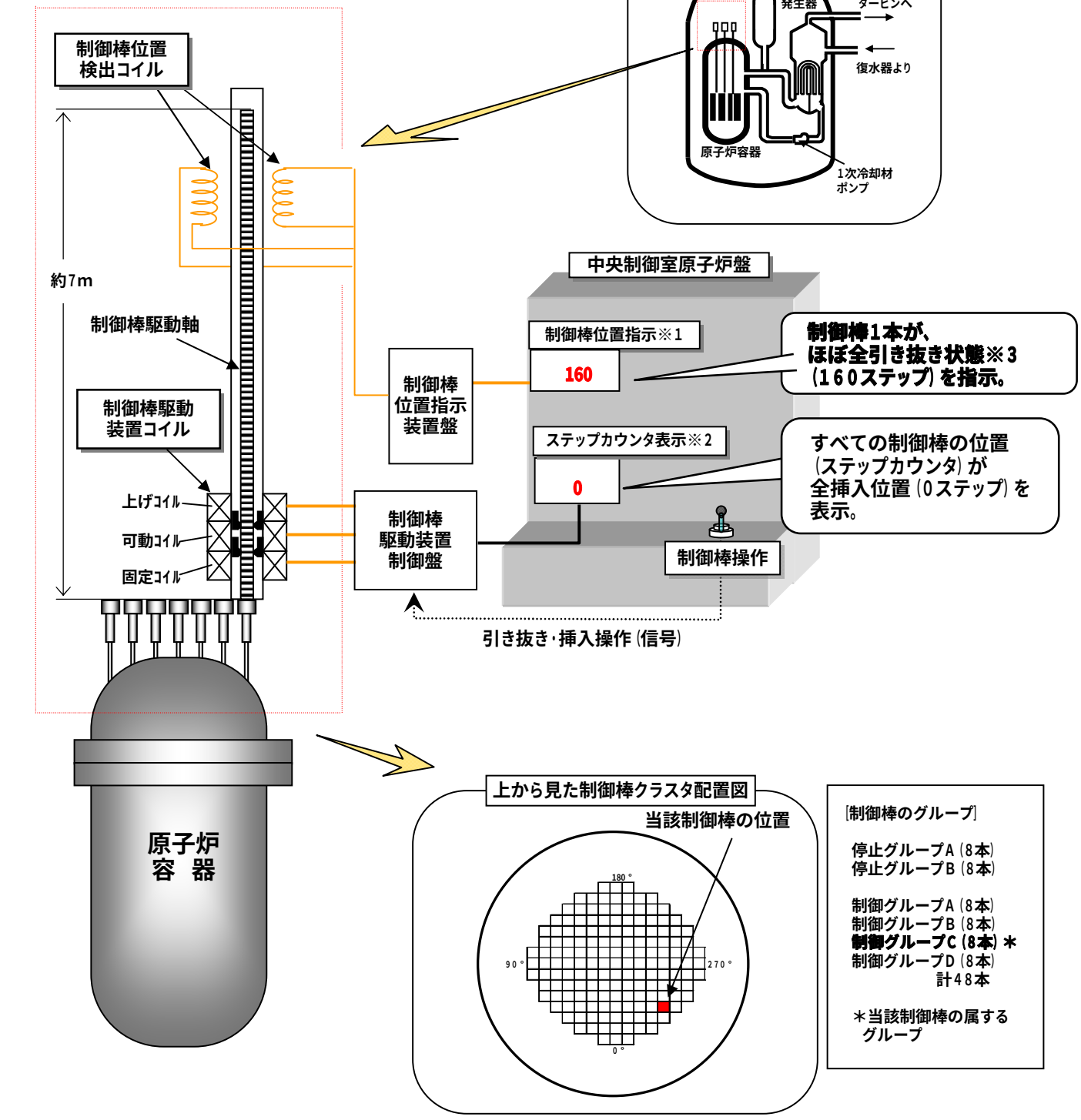
制御棒クラスタ動作検査時の制御棒動作不良

制御棒駆動および制御棒位置検出概要図



※1：制御棒位置指示

検出コイルで制御棒位置指示を検出し、指示計とプラントコンピュータに信号を伝送し、制御棒位置を表示するもの。

※2：ステップカウンタ表示

制御棒駆動装置制御盤からの制御棒引き抜き・挿入操作信号をカウントして表示するもの。

※3：

当該制御棒の位置は、冷却材の温度が低い影響で通常より低く表示（160ステップ）されるが、実際は、ほぼ全引き抜き状態（228ステップ）にあると推定される。